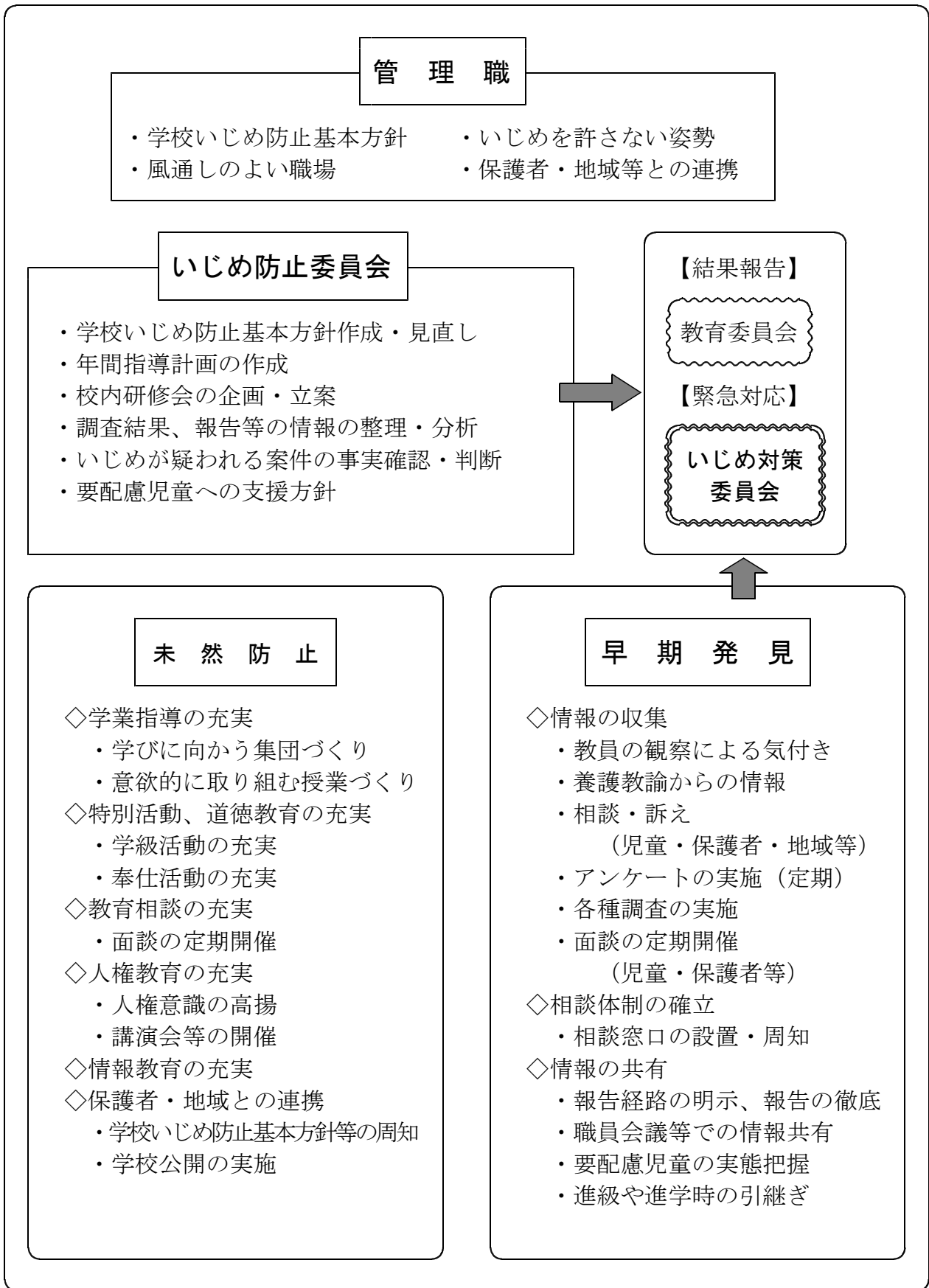
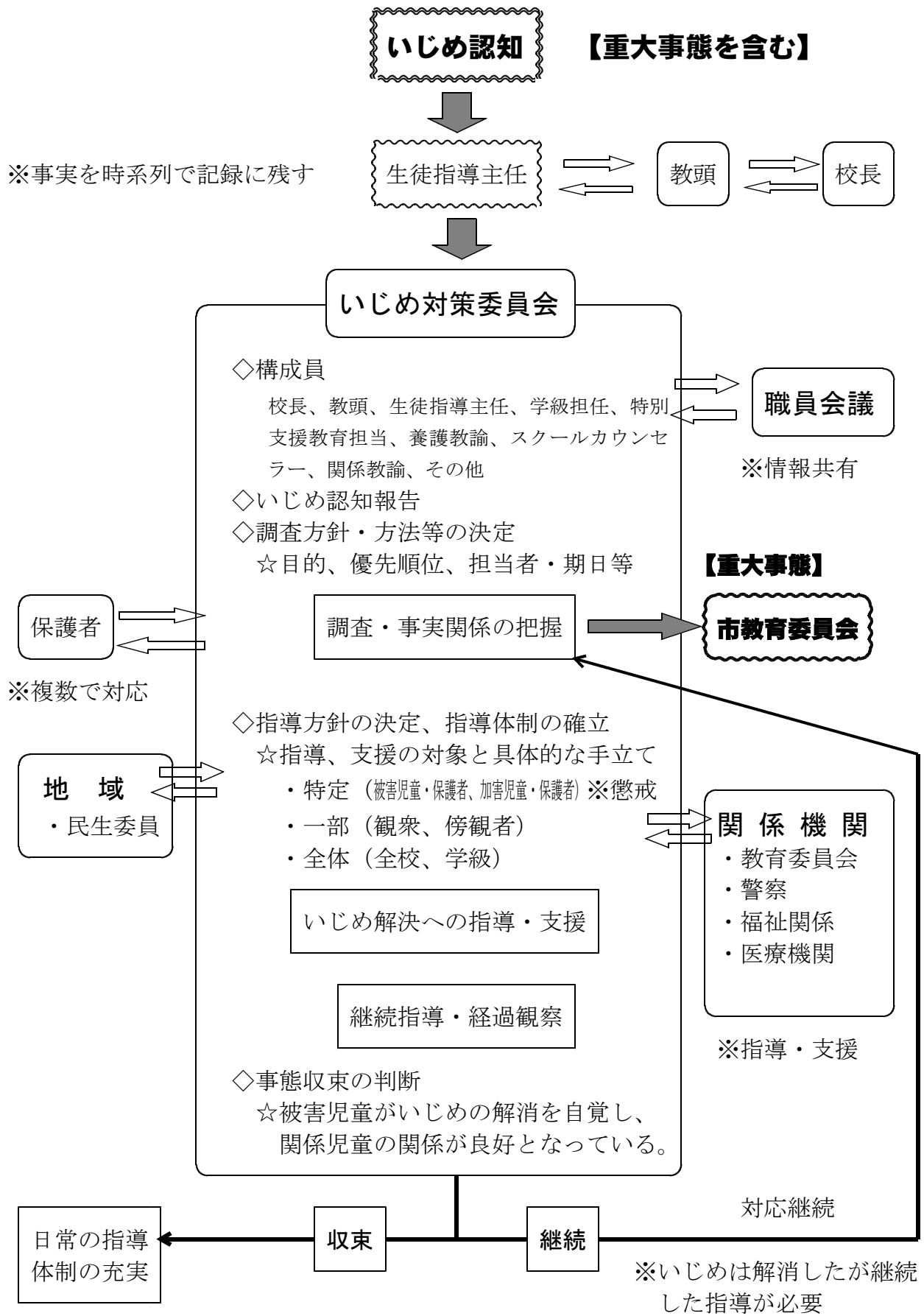


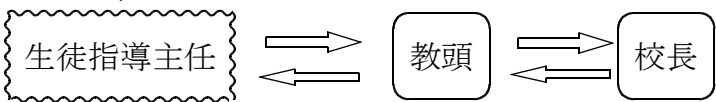
日常の指導体制（未然防止・早期発見）





**いじめ認知** 【重大事態を含む】

※事実を時系列で記録に残す



**いじめ対策委員会**

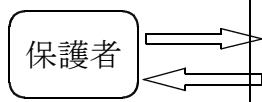
- ◇構成員  
校長、教頭、生徒指導主任、学級担任、特別支援教育担当、養護教諭、スクールカウンセラー、関係教諭、その他



※情報共有

- ◇いじめ認知報告
- ◇調査方針・方法等の決定  
☆目的、優先順位、担当者・期日等

【重大事態】

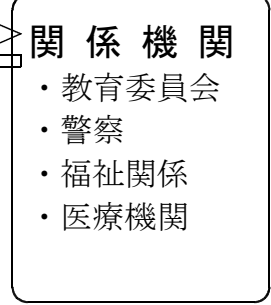


※複数で対応

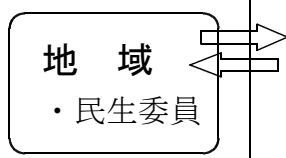
調査・事実関係の把握



- ◇指導方針の決定、指導体制の確立  
☆指導、支援の対象と具体的な手立て
  - ・特定 (被害児童・保護者、加害児童・保護者) ※懲戒
  - ・一部 (観衆、傍観者)
  - ・全体 (全校、学級)



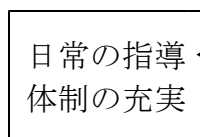
※指導・支援



いじめ解決への指導・支援

継続指導・経過観察

- ◇事態収束の判断  
☆被害児童がいじめの解消を自覚し、関係児童の関係が良好となっている。



収束

継続

対応継続

※いじめは解消したが継続した指導が必要